

ひめじ おれんち” プロジェクト



進めよう！深めよう！わがまちの認知症ケア！



ひめじ おれんち”
(ひめじ認知症啓発協議会)

2021プロジェクト概要
(活動記録)

<http://h-294.com/orange/>



ひめじ おれんち` (ひめじ認知症啓発協議会) は、

- (1) 認知症の啓発に関する協議
- (2) 認知症に関する啓発資料の作成、勉強会の開催
- (3) 認知症の啓発イベントの企画
- (4) 認知症の啓発に関するネットワークづくり

を行っています。

【活動の目的】

わが国は、類をみない「超高齢化社会」に突入しました。それにともない、「認知症」を発症する方が、これまで以上に確実に増加します。つまり、「認知症」は、私たちにとって大変身近な病気であり、重大な生活課題にもなってきているのです。

こうしたことから、「認知症」について正しく理解し、差別や偏見をなくして「認知症」の早期発見・早期診断につなげていくとともに「認知症」のご本人やそのご家族が安心してこれまでと同様に自宅で、そして地域で暮らし続けることができるような支援を行えるようになることが、とても重要になっています。

姫路市においても、地域の皆さんが、「認知症」になられたご本人やそのご家族のために、自分のできる範囲で支援ができる応援者(サポーター)になっていただくための「認知症サポーター養成講座」等、様々な啓発活動が推進されています。こうした活動が、より身近な生活に定着するためには、行政による働きかけだけでなく、当事者から一般市民・企業まで多様な参画による、市民全体・地域全体の課題として、自分たちの事として、一緒に参画できる啓発活動が必要です。

そこで、私たちは、認知症に関わる様々な人が共に集い、社会での不安感、孤立感を解決し、すべての人が心豊かに安心して暮らせるよう、一人でも多くの方に「認知症」について正しい理解を啓発することを目的として、様々な業種の企業・法人有志の参画・協働により「ひめじ認知症啓発協議会」を設立し、活動しています。

【ひめじ おれんち` 実行委員2021】

座長 田中 洋三 (特定非営利活動法人はりま総合福祉評価センター 理事長)
副座長 谷村 忠之 (認知症患者家族会 妻の芽会)

嶋田 兼一 (兵庫県立姫路循環器病センター 高齢者脳機能治療室)
東 靖人 (医療法人公仁会 理事長 姫路中央病院附属クリニック院長)
加藤 賢司 (兵庫信用金庫 総務部長)
成定 啓子 (医療法人佑健会 木村病院)
一丸 智司 (㈱ぼうしや薬局地域医療推進室)
森保 純子 (認知症の人と家族の会 兵庫県支部 世話人)
北島 正紀 (飾磨橋東地区連合自治会)



ひめじ おれんち` (ひめじ認知症啓発協議会)

ひめじ おれんち`は、事務局:認定特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センターが事業主体となり、啓発事業の一環として、多様な業種の法人やたくさんの市民の方々による参画・協働により運営されています。

ひめじ認知症啓発協議会に期待する



ひめじ認知症啓発協議会 実行委員
(NPO法人はりま総合福祉評価センター)
座長 田中 洋三

今年度(令和3年度)はコロナの嵐が吹き荒れて、多くの催事が影響を受けました。“ひめじおれんぢ”もセミナーやイベントが実施できずにいました。私たちの認知症の啓発活動は恒例の9月21日の世界アルツハイマーデーが姫路城の観月会と重なったことで、コラボしながらかろうじて姫路城をオレンジ色にライトアップできました。捲土重来を期して令和4年度は実り大きい活動を実現したいものです。

認知症になっても安心して住み慣れた家や地域で暮らし続けることが出来る町「姫路」を目指して“ひめじおれんぢ”の活動が続いています。しかしよく考えてみれば、その町には認知症を持つ人だけが暮らしているのではなく、障害を持つ人や子供や高齢者や様々な生きづらさ、生活しづらさを持つ人も暮らしています。認知症にかぎらず様々な課題を持つ人にとっても安心できる街づくり、言い換えれば、“地域包括ケアシステム”、“地域共生社会”の実現した町づくりの同じ目的を持って活動していることに気付かされます。

令和4年度はコロナ禍によって活動が鈍ったストレスを払拭する催事を実現したいものです。

コロナ禍での活動



ひめじ認知症啓発協議会 実行委員
(認知症患者家族会 妻の芽会)
副座長 谷村 忠之

2020年に続き今年度も啓発ウオークはできなかった。効果的であると思われる啓発活動はやはり市民参加型のイベントで、駅前広場でのライトアップイベントや啓発ウオーク・市民会館での講演会が挙げられるが、ここ2年そういったイベントを行うことが出来ずに、いきなりの姫路城オレンジライトアップのみにならざるを得なかったのは、大変残念であった。

啓発活動は気軽に参加できる市民イベントが一番だと思っているが、ウェブサイトの活用も充実していかなければならないと思う。まずは「ひめじおれんぢ」のホームページを開設。その中にイベント・研修会等の情報を掲載するなど情報発信と共に、認知症の啓発に関するネットワークづくりにも資するため次年度から取り組めたらと考える。



ひめじ認知症啓発協議会 委員
(医療法人公仁会 理事長 姫路中央病院附属クリニック院長)
東 靖人

昨年はコロナ禍の第5波の最中に迎えた世界アルツハイマーデーでした。私たち姫路中央病院認知症疾患医療センターは、姫路市民会館で認知症サポーター養成講座の講師をさせていただきました。ハイブリッドで現場とウェブ両方でおこないましたが、皆様のご協力が無事に終了する事ができてありがたかったです。

ひめじ認知症啓発協議会の活動のみならず、私たちの認知症疾患医療センターや病院の診療活動も大きな制限がある状態が続いています。そんな中でも、皆様方と協力させていただき、わが町の事として認知症診療に取り組んでゆきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



「地域での認知症の予防と理解を深めるもの」とは



ひめじ認知症啓発協議会 実行委員
(飾磨橋東地区連合自治会)
北島 正紀

飾磨橋東地区連合自治会活動の一環として「集いの場 オレンジカフェしかま」を設立して7年目に入りました。2020年7月が5周年でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、その後も予定が立たず、機会をみての開催、中止の繰り返しで、参加者の方々、ボランティア及び関係者の皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。

この様な状況の中で、姫路獨協大学看護学部から研究調査「通いの場」に参加する高齢者の虚弱(フレイル)予防の取組み認識のテーマで、アンケート調査が実施されました、獨協大学の先生方とは日頃から「オレンジカフェしかま」に参加して頂き、交流を深め合いをしていました。本文のテーマ「認知症の予防と理解を深める」「集いの場」に参加される方々の実態調査も関連し非常に興味深く、調査結果が楽しみでした。2022年3月大学から調査結果が関係代表者に報告されました。「通いの場」に参加する高齢者(92名調査対象者)の方々については、コロナ禍においても活気ある生活を維持している。しかし、口腔機能の低下からフレイルの危険性があることもわかった。フレイルは予防と改善ができることもこの調査結果をひとつの指針として「集いの場」の次への目標が定められる。住み慣れた地域でいつまでも暮らせる環境づくりを目指して、「ひめじ認知症啓発協議会」が今後益々発展されることを祈念いたします。そのための協力は惜しみません。

認知症の理解を目指すために



ひめじ認知症啓発協議会 実行委員
(株)ぼうしや薬局 地域医療推進室
一丸 智司

認知症という言葉が2004年に世の中に出て、18年が経過しました。この間にも人口の高齢化は進み、身近なご家族やお知り合いが認知症との診断を受けることも増えてきたのではないかと思います。一方で、認知症に対する地域の理解も進んできているかと言えば、まだ道半ばというイメージです。

厚労省では、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し「新オレンジプラン」という認知症高齢者等にやさしい地域づくりの戦略を策定しています。私たちの姫路地域では、複数の企業や団体、有志の方が集まって「ひめじ認知症啓発協議会(ひめじおれんち)」を結成し、9月21日世界アルツハイマーデーのライトアップを活動のシンボルとして、さまざまな啓発活動を実施しています。イベントに来て下さる市民の方や、街で足を止めて話を聴いてくださる方、インターネットでYouTubeを視聴して下さる方など、参画の方法はそれぞれかと思いますが、そのお一人おひとりの行動が地域における認知症の理解を深めてゆくものと思います。

私は薬局薬剤師として主に医療・介護の分野で仕事をしておりますが、それだけではなく市民の皆様を含めた社会全体の中で、認知症について理解を深めてゆくお手伝いができたらと考えています。

認知症は他人ごとではない



ひめじ認知症啓発協議会 委員
(医療法人佑健会 木村病院)
成定 啓子


高齢化に伴い、誰もが認知症になる可能性があると考えたら、そろそろ？十分？他人ごとではない年齢です。認知症に限らず、少しずつ老化と思われる症状を自覚すると、なんだか寂しい気持ちになりますが、この先に認知症があるのだらうと考えておかなければいけません。

またコロナが長引き、認知症が進行した方もいらっしゃると思います。困っていても、助けてほしいと言えない方もいると思います。私がある立場になった時に、誰に打ち明けることができるでしょう。相談することは迷惑をかけることになるのではないかと躊躇するかもしれません。

取り急ぎ、身の回りをシンプルにしておくこと、重要なことは連絡先や置き場所を書き留めて家族に知らせておくこと、私が認知症になっても、軽いうちはできるだけ自宅で過ごしたいと思っていることを家族に伝えておこうと思います。同時に、予防のためにできることを始めておこうと思います。

認知症の方のために活動することは、自分たちの近い将来のためでもあります。その先に続く思いやりがある優しい姫路のまちを想像しながら、ひめじおれんちの活動を続けていきたいと思っています。

世界アルツハイマーデーに 姫路城がオレンジ色にライトアップ!



ひめじおれんぢ

9月21日 日没後点灯

h-294.com/orange/

ひめじ おれんぢ プロジェクト

進めよう! 深めよう! わかまちの認知症ケア!

世界アルツハイマーデー記念 認知症サポーター養成講座 開催のお知らせ

オンライン同時開催

9月21日当日は世界アルツハイマーデーに
姫路城がオレンジ色にライトアップされます。
日没後~24:00まで

9月21日(火曜日)18:30~
第39回姫路城観月会の様子がオンラインでライブ配信されます。

日時: 2021年9月21日(火) 15:00~16:30
(受付開始 会場・オンラインともに14:30~行ないます)

場所: 姫路市市民会館 3F 中ホール(〒670-0015 姫路市総社本町112番地)

参加費: 無 料 ※申込が必要です(申込方法は以下をご覧ください。)

参加方法: 集合50名 オンライン(ZOOM)80名 ※いずれも先着順

以下の「ひめじおれんぢプロジェクト事務局」または「ホームページ」からお申込み下さい。
*会場で受講される場合
電話・メールまたはFAXで氏名と電話番号、会場で参加することをお知らせください。
*オンラインで受講される場合
電話・メールまたはFAXで氏名とメールアドレス、オンラインで参加することをお知らせください。

ひめじおれんぢプロジェクト事務局(はりま総合福祉評価センター)
TEL079-287-3000 FAX079-287-3200 メールharima-3@h-294.com

認知症サポーターとは…
認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法を理解して、認知症の人や家族を温かく見守る支援者のことです。何かを特別にするというものではありません。自分のできる範囲で活動していただくためのものです。

主催: ひめじおれんぢプロジェクト(ひめじ認知症啓発協議会)
実行委員: 姫路市認知症支援センター(兵庫県立姫路看護医療センター・姫路中央病院・高岡病院)
姫路市市民会館・姫路市総合福祉センター3F
認知症の人と家族の会兵庫東支部・はりま総合福祉評価センター・姫路中央病院・兵庫信用金庫
ほりしや薬局

お問い合わせ事務局: 特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センター
姫路市安芸町1丁目1番地 姫路市総合福祉センター3F
TEL: 079-287-3000 FAX: 079-287-3200 MAIL: harima-3@h-294.com ホームページ: <http://h-294.com/orange/>



夜空に浮かぶ中秋の名月と、オレンジ色に染まる姫路城大天守
21日午後7時2分、姫路市岡町から望む

満月と大天守 競演 姫路「中秋の名月」

「中秋の名月」の21日、兵庫県内でも各地で夜空に浮かぶ満月が見られた。世界文化遺産・国宝姫路城(姫路市本町)では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、恒例の観月会は昨年に続いてオンラインでの開催となったが、多くの人々がそれぞれの場所でも月夜を楽しんだ。

8年ぶりに満月の日と重なった今年の名月。日没直後にほほ真東の空から昇った月は、「世界アルツハイマーデー」に合わせてオレンジ色にライトアップされた大天守と競演した。

ライブ配信された観月会では落語家の桂米團治さんが司会を務め、人気ロックバンド「Novelbright(ノベルブライト)」のボーカルで姫路出身の竹中雄大さんが地元の合唱団とともに歌声を披露した。

(大山伸一郎)

令和3年9月22日(神戸新聞記事より)



協賛金・寄付金のご協力のお礼

認知症の啓発活動として、姫路城のオレンジライトアップを行い、皆様方に協賛金・寄付金のお願いをしてまいりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により一時は、ライトアップが危ぶまれましたが、皆様方からご寄付いただいた資金によって、無事に各啓発活動を実施することができました。

2021年度(令和3年度)は6回目の活動となりましたが、多くの法人・団体様をはじめ、個人の皆様方からも、ご協賛あるいは、ご寄付を頂きました。また、職種を超えた多方面にわたる多くの方々から、活動にご協力をいただき、本当にありがとうございました。

ひめじ おれんち` は、今後も認知症の啓発活動として姫路城オレンジライトアップをはじめ、様々な啓発活動に取り組むべく活動を継続してまいります。

皆様方からの引き続き変わらぬご支援、ご理解とご協力を頂けますよう、お願いいたします。

ご支援いただき、ありがとうございました。
ご寄附・ご協賛いただきました個人様・法人、団体様をご紹介します。

中島 三郎 様
石原 敬則 様
大江 勝 様
嶋津 文枝 様
谷村 忠之 様

田崎 和代 様
庄 寛 様
赤松 広也 様
竹内 益世 様
山本 一嘉 様

岡根 道人 様
飾磨橋東地区連合自治会 様
関 孝敏 様
居宅つばめ 若松 健史 様
募金箱へご寄付を頂いた皆様



ひめじ おれんち`プロジェクト

進めよう！深めよう！わがまちの認知症ケア！



地域一番薬局となり
地域の人々の健康に貢献します

くすりを通して 地域の人々の健康をサポートします



ひろげましょう心と心のおつきあい



HYOGO SHINKIN BANK

兵庫信用金庫

姫路市北条口三丁目27番地

TEL079-282-1255

<https://www.shinkin.co.jp/hyoshin/>

ひめじ おねんち"プロジェクト

進めよう！深めよう！わがまちの認知症ケア！



あなたが健康だと、だれかがうれしい。

当社は、SOMPOグループの生命保険会社です。

保険本来の機能（Insurance）に健康を応援する機能（healthcare）を組み合わせた造語「Insurhealth®」を通じ、「健康応援企業」として新たな価値を提供いたします。



SOMPO
ひまわり生命

SOMPOひまわり生命保険株式会社 兵庫支社

〒670-0927 兵庫県姫路市駅前町60 マルイト姫路ビル1階

TEL : 050-2016-8604 FAX : 079-284-5765

<https://www.himawari-life.co.jp/>



中田 敬

Nakata Takashi

特定社会保険労務士
厚生労働省登録番号

第 28050079 号



業務内容

■ 人事労務のコンサルティング

- * 就業規則の作成
- * 社員教育、人材育成
- * 労務管理の相談、支援
- * 労使トラブルの解決

■ 総務事務のアウトソーシング

- * 労働・社会保険の申請、相談
- * 給与・賞与計算事務
- * 各種助成金の申請、相談
- * 年金相談、申請

中田人事労務事務所

〒671-2134 姫路市夢前町菅生澗1974-130

TEL 079-335-2531 / FAX 079-335-2532

E-mail sr-nakata@hm.h555.net

HP <http://www.sr-nakata.jp>